

一般社団法人 日本子育て支援協会
講師
岩本久実子氏



パパママ・キッズ婚の準備と打合せ留意事項

パパママ・キッズ婚の場合、準備も当日も自分たちのことプラス、子どものことを考えて常に動かなくてはならないもの。パパママ・キッズ婚を挙げて大変だったことの調査によると「準備が大変だった」という答えが半数以上を占めました。

(ミキハウス子育て総研(株)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」より)

具体的には、「育児で体力が奪われ、なかなか準備が進まなかった」「子どもと一緒

余裕を持ったスケジュールを組む

ではスムーズに進まなくて大変だった」「深夜の作業による睡眠不足」「子どもの突然の病気で打合をドタキャンしたこと」など子育て中ならではの声が。

子どもの機嫌や体調に左右され予定通りに進まないといったスケジュール調整の問題や、子育て中の心身ともに労力を要されるママ新婦の体力的・精神的問題が発生しています。

子育て、家事、その後にやっとなら結婚式の準備というように、はやる気持ちを抱えながらも優先順位があり予定通りに進まないというのが新郎新婦の心の内です。だからこそ、こういう場面では式場側の腕の見せ所です。

では対応法について以下ご紹介しましょう。

①「打合せの組み方に工夫を」

居住場所(式場から近いの遠いのか)や子どもの性格により、1時間程度の打ち合わせを複数回行う方がよいのか、できるだけまとめて行う方がよいのかが見えてきます。

子どもの場所慣れ、人慣れのことを考慮すると回数を重ねる打合せがお勧めです。まとめて行う場合には休憩をこまめにとり、できれば祖父母や友人など子どもをみてくれる方の同席もご提案を。

子どもの体調によって当日ドタキャンの可能性もあるため、余裕を持った前倒しのスケジュールが組めると安心です。

②「無用な時間を減らす、代行する」

予算が厳しい方やなんでも手作り派の新郎新婦の場合、準備の現実を知らず、ペーパーアイテム等持ち込み可能なものを自分たちで準備し

よう!なんてことも。結果的に時間オーバーでパンクしてしまい余計に費用がかかるケースも少なくありません。“無用な時間を減らしてあげる、代行してあげる”ということをうまく伝え導くスキルが求められます。準備時にゆとりが生まれれば、子どもと向き合う時間が増え、子どもの精神状態の安定にもつながり、より良い結婚式当日へとつながります。

③「お子さま同席での打合せ環境整備」

人目を気にせずにする個室や、ホテルの場合には客室など。親子でリラックスして数時間が過ごせる環境提供が喜ばれます。授乳やオムツ替えのタイミングなどこまめに声かけを行いましょう。

④「常に“お子さまウェルカム”の姿勢を」

これは打合せ担当スタッフだけではなく、館内スタッフ全員が“お子さま連れウェルカム”の mindset をもって対応を。その姿勢が子連れファミリーにとっては何よりも嬉しいものです。

以上の対応法を参考に、子育てだけでも大変な中、結婚式の準備という大きな労力を費やしている新郎新婦へ、ぜひ感謝の気持ちと労わりの気持ちを向けて向き合ってみてください。

Q. 振り返ってみて、パパママ・キッズ婚を挙げて大変だったことは何ですか?



Weekly ゴーゴーリサーチ(特別編)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」(2014年7月)より

連載 ① 毎月11日号